

目次

はじめに 2

第1話 「わたし」を取り囲む世界——人称の捉え方

- (1) 「わたし」探し 10
- (2) 心理的には“i”である 16
- (3) 「わたしたち」の you 19
- (4) ぬくもりの you と袴かみしもの one 23

第2話 誤解表現——日本人の勘違い

- (1) might as well の心理 と may well の距離感 28
- (2) come で「行きます」 32
- (3) そもそもの「考え方」の違い 34
- (4) 「ヒアリングテスト」だけはやめて 41
- (5) You're very polite. は皮肉の表現 42
- (6) メイビー病 46
- (7) 失敗談 51
- (8) さらなる失敗談 53

第3話 否定と比較——その気分と心理

- (1) no と not はどう違うのか 58
- (2) 退屈で、深刻で、感動的な話 62
- (3) 原理的な話を 66
- (4) 「クジラの公式」を公式化しない 71
- (5) no less ~ than の料理法 76

第4話 時間の捉え方——“時制心”を養おう

- (1) 「例外」を語る快感 80
- (2) 「現在形」は現在を語ってはいない 82
- (3) 「状態動詞」は進行形にできない? 85
- (4) 自嘲気味に語る I will be ~ing 86
- (5) 「現在完了」の正体 87
- (6) 「現在完了」は未来にもつながる 89
- (7) 「時制の一致」という難敵 90
- (8) 過去完了の必要性 93

第5話 仮定法——真実を語る極意

- (1) 「仮定法」に過去形を借用するわけ 98
- (2) 事実の反対ということ 104
- (3) 真実の語り方 106
- (4) 「仮定法未来」ってなんだ? 109
- (5) 仮定法は「夢物語」を語る 114

第6話 助動詞——わかる、助動詞の気持

- (1) 助動詞は「こころのみだ襷」に宿る 118
- (2) may と might をめぐる誤解 119
- (3) can と could の思い違い 121
- (4) may は「権威」 124
- (4) ぜひ、must を覚えてほしい 127
- (5) will をどう教えるか 129
- (6) must と have to の違い、should と ought to のズレ ... 133

第7話 冠詞——それは脇役、しかしベテランの

- (1) 王様だから冠をかぶるのか、
冠をかぶっているから王様なのか 138
- (2) 由来から迫ってみる 141
- (3) a と the を語源から考える 142
- (4) スポットライトで照らし出すということ 145
- (5) 包み隠して気を引く手練 148
- (6) 無冠詞複数形の意味するところ 154

第8話 前置詞——その中核的概念に迫る

- (1) 「から」= from 問題 158
- (2) 習ってから慣れろ 160
- (3) 前置詞のもつ中核的イメージ、「接触」の on 161
- (4) 「一点」の at 164
- (5) 「内包」の in 166
- (6) 「相当」の for、「到達点」の to 168
- (7) 「直接的帰属」の of 170

第9話 関係詞——「情報の流れ」をつかめ

- (1) 関係代名詞は「接続代名詞」とか「連結代名詞」という
名称に 174
- (2) 関係詞の理解は必要 178
- (3) 主格の問題点 181
- (4) 関係代名詞の省略 183
- (5) カンマのあるなしを耳で聞き分けられるのか 185
- (6) 関係副詞と先行詞 186
- (7) what は関係詞か疑問詞か 189

第10話 日本人の英語はどうあるべきか

——しっかりしなさい英語教師

- (1) 壁の向こう側にいる日本の英語教師たち 192
- (2) 耳と口をどう鍛えるか 200
- (3) 「読む・話す・聞く」という行為 205
- (4) やっぱり文法 207

あとがき 215